

反社会的活動

自民党議員などとの癒着

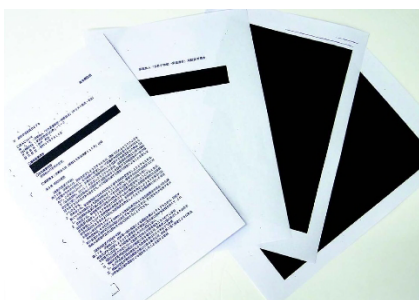
徹底追及 旧統一協会



日本共産党国会議員団は7月21日に「旧統一協会問題追及チーム」を立ち上げ（写真左）。高額献金や違法勧誘など旧統一協会の反社会的な活動や政界に対する大規模な工作について徹底追及しています。

日本共産党

名称変更の決裁文書 黒塗り すぐに公開を



旧統一協会は2015年6月2日に下村文科相に名称変更（「世界基督教統一神霊協会」から「世界平和統一家庭連合」）を申請し、同8月26日に認証されました。

←旧統一協会が申請した名称変更の理由などを黒塗りにした文化庁の決裁文書

靈感商法の被害救済にあたる弁護士グループは、当時の下村博文文部科学相や文化庁長官らに変更申請を認証しないよう申し入れていました。申し入れ書では旧統一協会への社会的批判が高まったことで資金獲得が困難になったため、名称変更で正体を隠して資金や人材獲得をしようとしていると指摘しています。

下村氏は安倍政権で文科相に就任。旧統一協会系の世界日報社から、自身が支部長の自民党支部で16年に6万円の献金をうけるなどしていました。

文化庁は名称変更を認証した際の決裁文書を、日本共産党の宮本徹衆院議員の求めに応じて提出。同庁は提出文書から名称変更の理由にかかわる記述をすべて黒塗りで隠して提出しており、宮本議員は不当な情報隠しであり、すぐに公開すべきと強く求めています。

日本共産党は 40年以上追及

日本テレビ系「情報ライブ ミヤネ屋」で、コメンテーターの吉川氏が旧統一協会に対する日本共産党の対応について「何も言わないで、世間の注目が集まっているこの時に急に言い出す…パフォーマンスっばい」とコメントをしました。

日本共産党は40年以上も前から、旧統一協会による数々の問題を追及するとともに、一貫して被害者救済に尽力してきました。吉川氏の発言はこうした事実と反するものです。

統一協会を追及した過去の「しんぶん赤旗」記事



旧統一協会問題を徹底追及 「しんぶん赤旗」

日刊/月3497円 日曜版/月930円

申込みは
コチラ



愛知民報

2022年8月号外 日本共産党の見解を紹介します。
（発行）愛知民報社 〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号 愛知あかつき会館内
（1966年7月31日第三種郵便物認可）

日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号 ☎ 052-261-3461

コロナ対策強化を

わしの・しもおく前県議が大村知事に緊急要請

日本共産党

日本共産党愛知県委員会は7月28日、大村知事に対し、コロナ対策の強化を申し入れました。わしの恵子、しもおく奈歩両前県議、高橋真生子党県コロナ対策本部事務局長が参加。感染症対策課の職員が対応しました。

わしの前県議は「感染急拡大に加え、新たな株も出ている。無料検査は期間を限定せずコロナ収束まで、予約なしに身近で受けられるようにしてほしい」と訴え。職員は「8月末まで期間を延長し、状況を見てさらに検討したい」と回答しました。

しもおく前県議は、介護従事者のPCR検査の頻度を上げること、配食サービスを全ての自宅療養者に行き渡るようにと強く求め、「国待ちにせず、県民の命を守る立場で手を打ってほしい」と話しました。



感染症対策課職員に要請書を手渡す（右から）しもおく、わしの、高橋各氏＝28日、愛知県庁

新型コロナウイルス感染症の急拡大から県民の命を守るための緊急申し入れ

- ① 無料PCR検査の実施場所を県の責任で広げ、県内のどの地域でも、いつでも予約無しに身近な場所で受けられるようにするとともに、コロナの収束まで継続すること。また、県内に通勤、通学する人なども受けられるようにすること。検査の重要性を積極的に広報し、受検を促すこと
- ② PCR検査を行う医療機関に対して支払われる診療報酬を県が補填し、医療機関での検査の促進を図ること
- ③ 入院が必要な方を受け入れるため、病院職員の体制確保への支援を強力に行うとともに、減額された愛知県医療従事者応援金の基準をもとに戻すこと
- ④ 重症化リスクの高い方との接触が避けられない医療従事者や介護従事者にPCR検査を早急に頻回に切り替え、重症化リスクの高い方への感染拡大を抑止すること
- ⑤ 施設入所しておらず、日常的な介護を必要とする高齢者の陽性者を受け入れる介護つき受け入れ施設を県として開設すること。もしくは手を挙げた政令市や中核市に施設開設の権限を与えること
- ⑥ 保健所の箇所数を増やすことも含め、保健所機能の抜本的強化に取り組むこと。正規・常勤の人員増と合わせ、保健師の積極的派遣やIHEATの拡充による広域的な人材派遣など緊急支援を強化すること
- ⑦ 配食サービスが必要な人に行き届くよう、規模を緊急に拡大すること
- ⑧ かつてない規模で新規感染者が急増している。今後重傷者が急増するリスクも想定し、ありとあらゆる手立てがとれるように専門家の意見を聞き、対策を講じること